※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　歴史総合」　（第一学習社）						
副教材等	「新詳　歴史総合」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去と現在との対話から未来が創造されることを認識する。
・様々な歴史的事象について様々な立場から考え、「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とし、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

（１）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる資質・能力を身に付ける。
（２）歴史的事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、構想したことを説明・議論したりする力を身に付ける。
（３）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識:近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能:諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	序章　歴史の扉	①歴史と私たち	a:私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることについて理解できている。 b:近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について多面的・多角的に考察し、表現できている。 c:諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	提出物	提出物	提出物
		②歴史の特質と資料	a:日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることについて理解できている。 b:複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	提出物	提出物	提出物
	第1章　近代化と私たち	近代化への問い	・交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けることができている。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現することができている。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	提出物	提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		第1節　18 世紀のアジアの繁栄 第2節　産業革命と市民革命 第3節　イギリスの繁栄と国民国家の拡大 第4節　アジア諸国の変貌と日本の開国 第5節　帝国主義の発展	a: ・18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会について理解できている。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成について理解できている。 ・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成について理解できている。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容について理解できている。 b: ・18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

			多面的・多角的に考察し、表現することができている。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			
2学期		近代化と現代的な諸課題	a:自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について理解できている。 b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第2章　国際秩序の変化や大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化への問い	a:国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けることができている。 b:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	提出物	提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		第1節　第一次世界大戦と大衆社会	a: ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制について理解できている。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりについて理解できている。 b: ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		第2節　経済危機と第二次世界大戦 第3節　第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成	a: ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺について理解できている。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について理解できている。 b: ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

3学期		国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	a:自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解できている。 b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	提出物	提出物	提出物
	第3章　グローバル化と私たち	グローバル化への問い	a:冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けることができている。 b:グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	提出物	提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		第1節　冷戦と脱植民地化･第三世界の台頭	a: ･脱植民地化とアジア･アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容について理解できている。 ･西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会について理解できている。 b: ･地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的･多角的に考察し、表現することができている。 ･冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的･多角的に考察し、表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

3学期		第2節　国際秩序の変容と21 世紀の世界	a: ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題について理解できている。 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題について理解できている。 b: ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。 c: ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		現代的な諸課題の形成と展望	a:持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題について理解できている。 b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	提出物	提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度